

# 人生100年時代のモデルCF表で リスクを見える化する

ここでは標準的な60代夫婦のCF表を例にアドバイスのポイントをチェックする

## ① CFの収支は年額ではなく 月額で説明する

CFの数字は「年額」で表示されているが、説明するときには「月額換算」した数字で説明するほうがイメージしやすい

## ② 物価上昇の「こわさ」を確認するにはCFの活用が効果大

1%の物価上昇でも長く続けば、現在300万円の生活費が10年後には331万円に。時間の影響の大きさを理解してもらうにはCFの活用が効果的

## ④ 年金は受給額を増やす工夫も提案できるように

この事例では妻の基礎年金が満額ではないため、任意加入制度の説明も有効。繰下げ受給を選択した場合との比較なども提示できるようにしておこう

## ③ 年金額がどのように推移するか

老齢年金額の推移は、特別支給の老齢厚生年金や加給年金などの情報も含めてポイントを説明できるようにしておきたい

経過年数	現在	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
夫	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	66歳	67歳	68歳
妻	55歳	56歳	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳
ライフイベント	夫退職・再就職 個人年金受取	受夫企業年金		車購入 夫年金開始		妻リフォーム 個人年金受取	夫完全リタイア 住宅ローン完済		
<b>収入</b>									
夫収入(手取り額)	600	200	200	200	200	100	0	0	0
夫退職金	2,000	0	0	0	0	0	0	0	0
夫老齢年金	0	0	0	55	110	169	227	227	227
妻収入(パート)	100	100	100	100	100	100	0	0	0
妻老齢年金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
遺族年金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
夫企業年金	0	120	120	120	120	120	120	120	120
夫個人年金保険(受取り)	60	60	60	60	60	60	60	60	60
妻個人年金保険(受取り)	0	0	0	0	0	30	30	30	30
合計	2,760	480	480	535	590	579	437	437	437
<b>支出</b>									
生活費	300	303	306	309	312	315	318	322	325
保険料	43	43	43	43	43	34	34	34	34
住宅ローン	120	120	120	120	120	120	0	0	0
リフォーム費用	0	0	0	0	0	223	0	0	0
旅行	0	0	0	0	0	62	62	62	62
車購入	0	0	0	300	0	0	0	0	0
大型支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護関連費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他支出	30	30	30	30	30	30	30	30	30
合計	493	496	499	505	505	784	444	448	451
年間収支	2,267	-16	-19	-267	85	-206	-7	-11	-14
前年繰越額(運用なし)	1,000	3,267	3,251	3,232	2,965	3,050	2,844	2,836	2,826
金融資産残高	3,267	3,251	3,232	2,965	3,050	2,844	2,836	2,826	2,812
前年繰越額(3%で運用)	1,000	3,365	3,449	3,533	3,364	3,553	3,447	3,543	3,638
金融資産残高	3,267	3,349	3,430	3,266	3,449	3,347	3,440	3,532	3,624
前年繰越額(5%で運用)	1,000	3,430	3,585	3,744	3,651	3,923	3,903	4,090	4,283
金融資産残高	3,267	3,414	3,566	3,477	3,736	3,717	3,895	4,079	4,270

## ⑤ 訴求したい項目は外出して

保険や住宅ローンなど、今後の提案に展開しやすい項目については生活費から外出して単独項目に見直し後のCFも作成することで効果を見える化しよう

## ⑥ 「例えばですね」の要素も ちりばめる

世代に応じたライフイベントや、イベントにかかる費用をCF上に表示することで、ニーズ喚起やヒアリングへと展開しよう

(単位: 万円)

9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年
69歳	70歳	71歳	72歳	73歳	74歳	75歳	76歳	77歳	78歳	79歳	80歳
64歳	65歳	66歳	67歳	68歳	69歳	70歳	71歳	72歳	73歳	74歳	75歳
	妻年金開始					家電買換え					
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
227	208	188	188	188	188	188	188	188	188	188	188
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	35	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
120	120	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	30	30	30	30	30	0	0	0	0	0	0
437	392	288	288	288	288	258	258	258	258	258	258
328	331	335	338	341	345	348	352	355	359	362	366
34	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
62	62	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	50	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
454	453	415	418	421	425	478	432	435	439	442	446
-17	-61	-127	-131	-134	-137	-221	-174	-178	-181	-185	-189
2,812	2,795	2,734	2,607	2,476	2,342	2,205	1,984	1,810	1,632	1,451	1,266
2,795	2,734	2,607	2,476	2,342	2,205	1,984	1,810	1,632	1,451	1,266	1,077
3,733	3,828	3,879	3,865	3,846	3,824	3,797	3,683	3,614	3,540	3,459	3,372
3,716	3,766	3,752	3,734	3,712	3,686	3,576	3,509	3,437	3,358	3,274	3,184
4,483	4,689	4,860	4,969	5,080	5,194	5,309	5,343	5,427	5,512	5,597	5,682
4,466	4,628	4,732	4,838	4,946	5,056	5,088	5,169	5,249	5,330	5,412	5,494

## ⑦ CFを使うと お金の色分け提案がより具体的に

本格的な取崩しが始まる時期を把握できれば、お金の色分け提案も行いやすい。具体的な方法論へと展開しよう

## ⑧ 運用による資産の差は 20年後あたりでの説明が効果的

運用の効果については、3パターンほどの金利を使って比較するとわかりやすい。20年後あたりの違いを使って説明すると効果大